

第3回安城市総合交通会議 議事録

日時

平成28年3月23日(木) 午後1時30分～

2 場所

安城市役所 第10会議室

3 出席委員

名

4 会議内容

1 あいさつ

2 議題

(1) あんくるバス・あんくるタクシーの高齢者・障がい者等の運賃について

3 報告事項

(1) あんくるバス・あんくるタクシーの利用状況について

(2) 平成27年度実施事業について

(3) 知多乗合(株)(安城-中部空港線)の廃止について

(4) あんくるバス安祥線「安城コロナ」バス停名称について

4 その他

■委員からの主な指摘事項と対応について

議題(1)

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p><委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現行運賃の100%割引を行うという表現をあえて安城市が負担すると変えたその意図は何ですか。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現行では運賃100%割引を行うとなっておりますが、これですと安城市も負担しないし、本人様も負担しないというような解釈になってしまいます。実際には安城市が運賃として負担していますので、現状にあった表現に変えさせていただくというものでございます。
<p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運賃が設定されていて、割引をするという考え方なのか、写しをもっておられる方の運賃は負担しないという考え方にするかということです。運賃設定をするかしないかという意味ですが、市として負担をするということです。 ● 100%割引をしますという考えではなくて、市の方が負担しますという明確な姿勢を示すということです。 ● あんくるバス・あんくるタクシーだけの話になります。名鉄バス安城線も市内を走っていますが、そこには適用されないということですか。 ● 5月1日からだと、時間的に調整は無理かもしれませんが、交通の仕組みというのは、あんくるバス・あんくるタクシーだけで市民の方は動いている訳では無いです。是非、名鉄さんの路線バスについても何らかの形で、ご相談いただくようお願いしたいです。 ● あんくるバスがルートを決める時には名鉄バス安城線をさけて、競合しない形にしている訳です。そうすると名鉄バスしか使えない方もお見えになる訳です。そういう意味でネットワークという考え方からすると、名鉄バスさんとも協議をしていただきたいと思います。 ● 岡崎安城線という岡崎市とまたぐ路線もあります。それに対してはどうするんだということも含めて、名鉄バスさんとお話し合いをしていただけたらと思います。またいろいろ名鉄バスさんは名鉄バスさんの仕組みも持ってお見えになりますから簡単にいくことはないかもしれませんが、少しでもご負担が少なくなるような形をお願いしたいと思います。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 名鉄さんに確認をさせていただいたが、名鉄バスも障がい者の方につきましては、割引を行なっているということです。写しにつきまして、確認は取れておりませんが、今の所はあんくるバス・あんくるタクシーだけの実状となっております。名鉄バスとは今後も協議をしていきたいと思えます。

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p><委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ● これはあくまでも福祉課の方でコピーを取って福祉課の方であんくるバス無料乗車証というシールを貼るためシールが無いものは無効という考えでよろしいですか。 ● タクシー業界全体で障がい者手帳と身体障がい者手帳と見せていただいて事業者が1割負担をするという制度をやっています。愛知県の中で障がい者手帳を持っている方は、愛知県内のどこで乗っても1割引きというのは、事業者が負担をしています。本人確認をさせていただくために、原本を見させていただいています。コピーの中に写真がありますが、原本と同等という位置づけでよろしいですか。 ● あくまでもこのコピーというのは、あんくるバスとあんくるタクシーに乗る為の時に使えるものなのか、それとも障がい者手帳そのものの原本としての取り扱いと同等の扱い方をしているのかどうかというところです。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 必ず福祉課の方で責任を持って写しを取ってお渡しをさせていただきますので、シールが無いと無効ということをお願いをしたいと思います。 ● これをもって原本同等のものとするということではありません。あくまでも、あんくるバスとあんくるタクシーに無料でご乗車いただくために今まで原本を見せて頂いていましたが、かわりに写しでも可能にするというものでございます。このコピーが世間一般的に原本になりうるものではないので、ご理解をお願いしたいと思います。 <p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 是非協会さんの方にもご検討いただけるといいです。皆さんが落してしまうという不安をおもちであるとするならば、どこまで認めるかという話は皆さんで決める事だろうと思います。今回はあんくるバスとあんくるタクシーの範囲でこれを認めるということになる。
<p><委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ● あんくるタクシーはいいが、安城市内のタクシーにはこれで乗れないという事です。 ● 先程会長の方からご指摘のあった点もそういうところが同じような問題が出てくるという事です。行政界を大きく跨いで行きますし、乗務員の負担もいろいろ出て来て、行政界のところはいろいろ問題が出てくる。なかなか良い取り組みではあるかも知れないですが、現実を見るとむずかしい問題も出てくると思います。 ● 付き添いはどういう扱いでしたか。また、障がい者の方の単独乗車はどうですか。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 一般タクシーの場合は原本を見せて頂かないといけないという事です。 <p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 名鉄さんのお話しはやはりその辺りが、難しいと思います。 <p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 付き添いの方は、75歳以上の場合も障がい者手帳をお持ちの方の場合も1名まで無料でご乗車頂けることとなります。 ● 単独でも結構です。付き添いの方がみえる場合は1名までは無料という事です。

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p><委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ● コピー自体無くした場合また原本コピーして使うという事になると思いますが、無くしたままでコピーするの面倒だから原本で乗るということは出来るんですか。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全てコピーではなくて、あくまでも基本は原本です。福祉団体の方から障がい福祉の担当部署にご相談がございまして、特に療育手帳をお持ちの子ども等がそういう恐れがあるので何とかしたいという事です。全ての方に対して全部コピーで対応するという事ではなくて、療育手帳のある方等必要な方のみについてはコピーで対応するというものでございます。 ● このコピーが紛失してしまったことになれば福祉の担当部署改めてコピーを取り直すと思いますが、原本の方は今まで通りの対応で使っていただきたいと思います。
<p><委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 実際にあんくるバスあんくるタクシーにどれくらいの対象者の方が乗られていて、どのくらい負担しているのか数字が知りたい。障がい者手帳を持たれている方が全体の中のどれくらいの割合で利用しているのかとかいうのが分かればより議論がしやすくなると思います。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者・障がい者無料を始めたのが、平成26年10月再編をした時からでございますので、利用の人数と金額大体どれくらいかという説明をさせていただきます。高齢者障がい者は年に4回の乗り込み調査にて、どれくらいの方があんくるバスに乗っているか調査しております。その中で75歳以上の方（無料）乗ってみえる方が全体の30%程度でございます。障がい者の方で乗られているのが7%程度でございます。昨年半年間の実績でございますと、高齢者分として安城市の高齢福祉課で負担している金額は7百40万円程度、障がい福祉課で障がい者の方の分として負担しておるのがおよそ百万円程度となっております。この金額は半年の実績なので1年にすると倍近くかかってくるのではないかと考えております。

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 確認のデータは取っているんですか。 ● こういった障がいをお持ちの方がご利用頂けるようにお手伝いするのは良いです。データをちゃんと取るのは大切なんだろうけど、やはり誰もが使えるというルールとして決めた訳ですから、是非ご理解頂くようお願いしたいですね。 ● 原本の話とかプライバシーの話とかいろんなことが出てきます。土日に定期券を持っていたら家族の1人も無料でいいという話もここでやったことがあります。それを適用することが本当にいい事なのか、皆さんが利用できる仕組みを私たちは作るべきだと思うんです。 ● 申請される方だけが福祉課にお見えになると思うのですが、お持ちの方にそれをどうやってお伝えするのか、何かお考えですか。手帳をお持ちの方に対してどうやって丁寧に説明してお伝え出来るかというところが凄く大切で、仕組みを作っただけでは手落ちではないかと思えます。 ● 是非対象の方がよく分かるように手を尽くして情報が伝わるようお願いしたいと思えます。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● データはございます ● ひとつは福祉の会合がございますので、そちらでも告知していただきまして、希望のある方は福祉課の方へお越しく下さいというご案内をさせて頂きたいと考えております。
<p><委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 乗り込み調査の結果30%ぐらいとおっしゃっていましたが、毎回提示のあった方の実績を集計しているとかではなくて、ある日に乗り込んだ実績という事ですか。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現状では提示していただいた方について運転手の方でカウントはしておりません。実績での数字では把握は出来ない状況です。 <p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人数把握は、運転手さんが毎日全部カウントして無料の場合はどれだけ何て話になってくるとややこしくなりますし、大変だと思います。調査時の数値で年間を見るというくらいだろうと思います。それ以上は大変な労力になりかねないです。大体約4割弱の方でということが出来るのかなと思います。

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ● あんくるバスのデータを取ることは大切です。どうやってデータを取っているか教えてください。 ● こういう調査は名鉄さんの路線は出来ませんか。名鉄さんの利用者は、新安城と更生病院どちらの利用なのか、どういう利用なのか分かりにくい。ネットワークとして何らかの形で取れるサンプリングでもいいと思うんです。そういうことは出来ませんか。 ● こういうデータは一緒になりませんか。最後の文章A3横の書いたものではなくて、こちらの前半の部分と同じものは作れないですか。 ● 発想が同じ列に載ってないです。せっかく第3者評価委員会で、すごくいい評価を安城市は頂いたはずなんです。市民代表の皆さん等いろんな方がおみえになっているから、状況を皆さんに知って頂くことはすごく大切と思います。 ● ご利用の仕組みを作っていく、乗継ぎの話とかいろんな話が出てくるとどうしてもこの話しが抜けてしまうという事が残念なんです。次の機会でもいいですから皆さんに分かるように資料なり説明して頂けるといいと思います。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 実際にバスの中に調査員の方が乗りこみまして、乗客全ての方にヒヤリングを取っております。 ● 名鉄さんにつきましては、安城線のみ合わせてヒヤリングを行っております。 ● 名鉄バス安城線につきましては、乗込み調査の結果ですと、利用状況は、再編前再編後におきましてもほぼ横這いという状況でございました。資料Bの最後に調査の状況をまとめた表がございます。この一番上の欄のところに市内基幹路線という事で安城線と書かれているところが名鉄バス安城線の利用状況でございます。 ● 今回の資料は添付を省略しております。もうしわけありません。名鉄の路線も利用状況等は報告させて頂いて、また今後の計画の分析等もちろん名鉄バス安城線も再編の中での役割もありますので同様の調査報告をさせていただきます。

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 名鉄バスさんをご利用される方で高齢者の方や障がい者の方は、何か提示して割引きとかを受けているのでしょうか。もしそうだとしたら、その情報は名鉄バスさんはお持ちで、その情報を安城市さんが頂くとか、どういうやり方をすれば効率よく情報が手に入るのでしょうか。 ● もし、こういうところを取りたいとあらかじめ安城市さんなり名鉄さんがはっきりさせておいて、こういった取り方をしましょうというのがちゃんとあればとれるのでしょうか。 	<p><名鉄バス></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 名鉄バスとしては、I Cカードを中心に運賃箱でかなり高度なデータは取っておるということ、取れる体制にはなっておるということです。 ● 割引きにつきましては、高齢者の方はやっていないんですが、身体障がい者もしくは障がい者関係の割引きはやっておりまして、そちらの方は5割引きとかそういう身障者手帳を提示で、介助者とセットでやっています。 ● データは、カウントしていますが、そこから日常的に取り出す仕組みはまだありません。もしやるならば、かなり手間がかかる大きな計算器を回さなければいけません。コスト等もありますので、ご相談いただかないと難しいです。データとしてはあるし割引きの方もやっております。 ● 高齢者は、65歳以上得々パスとして1万円とか1万5千円とか払っていただければ100円で乗り降りできる特殊券をやっております。 ● 基本的には、年に1度調査をやっているのので、データを取っていくのがまず1番だと考えています。次の仕組みは上手く年間を通してのデータが取れるならばなる価値があると思います。
	<p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ● I C化した事によって大変なデータになってしまうということです。名鉄さんが何か特別な手を考えて集計をやるのであれば、やれる事があるかもしれません。しかし安城市だけのデータを抽出すると大変なことになりかねないという事です。どうしても乗り込み調査で意見なりを把握していくことがいるのです。ですから、このビックデータを上手に判読し、ハンドリングする役割をどこかでやらないと名鉄さんの方で1つここは何とかしたいとかいう時には多分お使いになるかもしれない。 ● データは取れるけど大変だと思います。せっかく乗込み調査をやったので、大体何割ぐらいの人がどのように乗っておられるかをサンプリング調査で出されると段階が分かると思うのです。

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p><委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ● アンケートは、おそらく通常会話に支障のない方が多いのかなというところです。 ● 健常者の利用の仕方と障がい者が利用する利用の仕方は若干違うと思います。障がい者でもより使いやすい様な路線になっているかなどの参考になるかと思って、どのくらいの割合の方が使われていて、障がい者の方がどういう目的で使っているのか、それぞれのお客について考えるといいと思いました。 ● アンケートというのはどういう方に聞いているのかなというのがあります。 ● 公共交通の多くが電車・バス・タクシー、モビリティ等あるかと思っています。バスというのはその中核を担うものだと思っています。より多くの市民の移動の手助けになるものですので、障がい者も利用しやすいということであれば、健常者もおそらく利用しやすいと思います。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今回のアンケートは、実際にバスの中に調査員の方に乗り込んでの聞き取りです。平日・休日共に1日ずつを調査させて頂いております。その間に障がい者が乗ってみれば、その方をカウントすることはできるかと思っています。 ● 高齢者で無料なのか、障がい者で無料なのかは、今回のアンケートからも分かる様にはなっております。今後、詳細にクロス集計をしていきながら、それぞれ高齢者の方、障がい者の方がどのような行動とどのようなご意見をお持ちなのか分析していきたいと考えております。 <p><伊豆原></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 路線評価をしていく時にどういうご利用の仕方があるかは少し細かく目配りしてデータの集計等々お願いしたいと思います。
<p><委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ● あんくるバス再編後にかなり利用者が増えたという事でよかったと思うんですけど、これは目標に対して達成したのかそういう評価はしていますか。まだであれば次回にでも載せて頂きたいです。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● バス再編をさせていただく際にこちらの会議でもはかって頂きました連携計画という計画がございます。その計画で掲げる目標に付きましては概ね達成しておるという状況でございます。

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p><委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 東部線ですが、地域別にいいかと志貴学区になる訳です。そちらの方は今までは北部線に乗り入れていたのが東部線の方に回って、名鉄の宇頭駅からJRの安城へ行けとこういう事です。一部の意見だろうと思いますが、宇頭駅からJR安城駅に行く東部線に乗られるのは、岡崎市の方が多いと聞きます。東部線でJRの駅まで行かれる安城市の方がどれくらいあるのかを把握してみえるのか教えて頂きたいです。 ● 以前の回り方の方が利便性としてはいいという地元の意見です。それがどういう具合の数字でもって東部線の利用率が総意的に上がっているのか中身がもし分かったら教えて頂きたいと思います。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 東部線に限らず全市ですが、まずはバスの長大路線というところと運行本数を増やしてほしいという様なことから、各地域で住民懇談会等を開催しました。宇頭駅に行きたいというご意見もあれば、北部地域からJR安城駅の方にも行きたいというご意見もある中で、今回は再編させて頂いております。最低1回の乗継ぎで主要な駅や病院に行けるような路線を組ませて頂いております。 ● バス停の乗車人数はカウントしていますが、実際にどこで乗ってどこで降りたかわかるODを取った結果、安城市のバス停から宇頭駅や岡崎市のバス停で降りられた方も何人かはみえます。ですが、安城市内の方は全く利用していないということではないと考えています。岡崎の方が宇頭駅から安城市に来られることもあると思っております。安城市から行かれる方もゼロではないと考えていますので、ご理解いただきたいと思っております。
<p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ● いわゆるご利用者の居住地というのは聞いていますか。 ● 最後のページの評価と課題というところで路線再編の前後という視点で整理してもらっていますが、すぐに答えが出ないかも知れません。 ● 宇頭駅周辺は、岡崎のバスの境界線でもあり、岡崎のバスを安城市民が使っている場合もあると思います。境界の部分でお互いのサービスをどう展開するかは、隣接市町が話をすることがすごく大切です。是非そんなところも含めてこれからこの改善点や新たな課題というところを皆さんからお知恵をだして頂けるとありがたいです。 ● 再編して1年でようやく定着してくるところで、大きく変える訳にはいかないと思います。少しでも改善をする、いい方向に行こうという部分だけは持ち続けていただけたらと思います。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● アンケートの方で利用者の居住地の方も聞いております。東部線につきましては、約9%の方が市外の方のご利用となっております。駅を利用してJRから東部線に乗られた方もみえますし、宇頭駅のバス停から乗られた方もみえます。

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ● モビリティマネジメントは難しいですけど、事前調査や説明会をして、皆さんの意識が変わるまた1回乗ってみようかなとか実際に1回乗ってみたとかというようなことを事後調査では聞かれると思うんだけど、それについての分析というのは何時されますか。 ● 何時事後調査されたんでしょうか。 ● 是非そういうところは市民の皆さん聞きたいところだと思います。説明会で「説明会50人だけじゃん」と思われてしまうとあまり意味がないみたいだけど、実はそれが皆さんに聞いて貰ったとかいう事が結構出てきたりして、効果があるなら沢山やってみるとか。こういうバス通信とかいろんな話をして頂くと特に高齢者の方は安心出来る。午前中の会議でもあったのですが、マイ時刻表みたいに病院に行くにはあそこのバス停で何分に乗ればその病院に行ける。更生病院行ける八千代病院行けると分かると乗ってみようかと思えます。けどこういうものを配られて70後半の方80のおじいちゃんおばあちゃんがこれを見てバス乗ってねと言われて乗れるかなという感じがします。こういった効果は大切なので、是非分析した結果をなるべく早くこの会議なり皆さんにそれからもう1つはここの別所団地のここへ返してあげることです。ここで議論するのも大切ですけど、せっかく参加してくれたらこの参加してくれた人たちに返してあげることがすごく大切だと思います。是非なるべく早く分析して、遅くなって忘れちゃってからお渡しても効果ないので、まだ頭に残っているうちにお返ししてあげるのがすごく大切だと思います。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事後調査に関しての分析につきましては、まだ現在では出来ていない状況でございます。まとめ次第すぐに分析をして次に続けていきたいと思えます。 ● 事後調査につきましては2月の終わりから3月の7日まででやっております、作業中です。もうまとまってくるというところです ● 結果につきましては、説明会の結果をお送りしております。また同じような資料をお配りしたいと考えております。

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p><委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ● バスロケーションシステムは、表で見ると27年度分だけでも360万という事で書かれている。そうなるのであれば1基設置するのにどれくらいなのかということと維持管理経費がどのくらいかかるのかとかという事、そして今後こういう機器の追加導入をどのように考えているのか。例えば三河安城駅、古井駅だとかまだいろいろ駅があります。そういうところに設置の計画は考えてみえるのかどうか、その辺お聞きしたいです。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事業費360万は、27年度単年度の事業費です。ディスプレイと停留所表示機があります。ディスプレイタイプのは費用がかかります。維持管理費につきましては、26年度の再編から設置をしておりますので、JR安城駅、更生病院バス停のディスプレイからデンパークの停留所表示機、八千代病院ロビーのディスプレイタイプのもの、停留所表示機は安城駅北口南口、南安城駅、桜井駅で、維持管理費保守の費用として、年間約100万円程度掛かります。 ● 今後も主要駅には随時設置して行きたいと考えております。29年にオープンする拠点施設にはディスプレイタイプを設置したいと考えております。三河安城駅などの駅にも、停留所表示機というタイプを随時設置したいと考えております。 ● 単年度で付けられればいいですが、予算の都合で停留所表示機もあるので、収益などを優先しまして、随時設置をしたいと考えております。 ● 維持管理費は、ディスプレイタイプ、停留所表示機、ホームページで運行状況を確認出来るシステムの全部含めての100万になっています。
<p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 出来れば総額事業費、昨年と今年で事業費が倍ぐらいでしたか。 ● その内、国からの補助金がどれぐらいだったですか。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 昨年が倍の約720万になります。 ● バスロケーションシステムにつきましては、2分の1が国からの補助金です。これは去年、今年度の26年度、27年度が国からの補助の対象年度となっています。

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p><委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 来年度は貰えないのですか。 	<p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2年間が限度です。安城市は上手く補助の対象になりました。2年間はこういった利用促進についての補助があった時にちょうど上手くのっかれることができ、半分は国からの補助を頂くことができました。 ● 来年以降は自分達でやらなくてはいけません、このバスロケーションシステムは随分安くなったんです。少し前までは1～3千万という経費がかかりました。技術が進化して随分安くなって、維持管理で100万くらいまで落ちてきました。 ● 友人がJR安城駅を降りてこのバスロケを見てすごく分かりやすいと褒めてくれました。分かりやすい仕組みを導入したと言っていました。 ● 何年か経つと陳腐化する可能性もあるので、こちら辺はまたいいものにしていかないといけない感じがしておりますが、今のところ安城の仕組みは最先端という感じがしております。
<p><委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 年度末にいつも町内会の総会があると思うんですけど、おそらくバスの利用者にターゲットになる人は総会に出てらっしゃる人が多いと思います。ただ3月で時期が集中すると思うんですが、市の方もそこで出張PRして頂くとコミュニティバスの利用者が総会に出てくる中で、1つチャレンジしていただくといいと思います。成果が出るかは分かりませんが、提案という事で発言させていただきます。 	<p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事務局の方でまた参考にしていろんな形でやって頂けるといいと思います。
<p><委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 職員の皆さんがいかれるのは大変ですが、各町内の総会には必ず市議員の方が出て見えます。だから皆さんの方から市議委員にPRしてごあいさつの中に1つこれを入れてくださいという事を伝えればかなり普及できるのではないかと思います。 	<p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1つのご提案ですから、やっぱりいろんな方がいろんな形で話題にのせて頂けるということはすごく大切だと思います。是非町内会であるとかいろんな催し物がされるとしますので、そういった時に皆に乗って、使ってみてという呼びかけをして頂けると大変いいんだろうと思います。

報告(3)

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p><委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ● バスでの中部空港までの移動手段というのは無くなるとこういう事になる訳です。代替というのは、何かお話しが来ているのでしょうか。 ● それは安城市を通過するのですか。 ● 岡崎からですと刈谷からのはあるという事で、岡崎のやつが安城経由で中部に行って貰えるという事は無いんですか 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 代替というものは今のところございませんが、例えば刈谷市と岡崎市を経由する路線につきましては、まだ路線は存在しております。大回りになりますが、そちらを利用していただくことは可能です。 ● 安城を通過しない路線です。安城市内から中部国際空港に行く路線は、これで無くなります。 ● 経路を変えるのは難しいという状況です。
<p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 結局利用者が少なければこうなるので、行政としてはつらい話です。利用される側はご存じないのかも知れないです。安城の駅なりどこかで掲示はされているんですか ● 駅では、どこかで説明してあげるなり掲示をしてあげた方がいいと思います。例えば駅の発着場では、こういう事情でこうなりましたとか説明してないと実際行ったらバスが無かったという人はこれからバス使ってくれません。是非分かるようにして頂けると大変有り難いです。市でも知多乗合さんでもいいので、事業者さんにご相談していただいて、手を打っていただきたいです。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 掲示に付きましては、業者の方に任せている状況ですので、バス停にはお知らせがあると思います。 ● バス停がございます。

報告(4)

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p><委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ● ホームページは簡単に直せるでしょうけど、例えばシール貼るとかこういう紙の物はみんな手作業で直していくんですか。 ● これはどこからかそういう指摘があつて直されたのか、背景はありますか。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 正式名称はコロナワールドですが、皆さん使っておられるのは「安城コロナ」ですので、次の印刷から新しい名称にしていきたいと考えています。 ● 実際に安城コロナの方から正式名称は安城コロナワールドだというご相談がありましたので、正式名称に直すという事になります。
<p><委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 細かいことですが、安城コロナワールドのコロナワールドはカタカナですかそれともワールドは英語表示のWORLDになるんですか。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 施設の看板はアルファベットで Korona World となっていますが、バス停はカタカナでコロナワールドとさせて頂きたいと思います。

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 条件が合わなくなったのは、乗車率ですか。 ● ご利用になられる方が、補助要件に満たないということです。皆さんが利用してくれなければ補助金は貰えなくなるんです。市のお金を投与しなくてはいけなくなります。ご利用が少なければ、本数も少なくしないといけないなど、いろんな条件が出て来てしまう。ここの会議だけではなく、市民皆さんに分かって貰わないと意味がない訳です。是非これから地域の皆さんにいろんな形でメッセージを出していく事が凄く大事です。 ● 誰のために看板が出ているかというと安城に訪れて貰う人のためです。皆さんに分かるようにということであれば、そういう人たちにも沢山使って貰えるような手を考えていく。 ● 地域間幹線が無くなるとフィーダーまで影響します。だから是非市民の皆さんにご利用頂くという事をお願いしておきたいと思います。市民の皆さんのお金を上手に使っていくことも考えていく必要があると思います。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● そうですね。最終的には、運賃の関係も絡んでくるところでございます。乗車人数が変わった事によりまして、この輸送量にも影響が出てくる
<p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ● この総合交通会議は年に3回くらいしか開催できません。いつもお願いするんですけど、この会議は2時間くらいかかりますが一言も発言なしにお帰りになることはなるべくよして頂きたい。言いたいことは言って頂くのが大切だと思います。私たちがやろうとしていることは、まだ市民の皆さんから100点貰っている訳じゃないです。少しずつ改善していくとすれば、皆さんにご提案を頂く、知恵を頂くというのが凄く大切だと思います。今日はあまり時間もありませんが、来年度以降もご質問で結構です。疑問点は幾らでもあると思いますので、ご質問を出して頂いて、それが少し解消される事によって理解が深まっていくと思います。是非ご発言をお願いしたいと思いますのでよろしくお願いいいたします。 	<p style="text-align: center;">—</p>

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p><委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 冊子にJ Rの時刻表がないので私としてはさみしいなというのが1点です。 ● 観光案内版は凄くカラーが目立っていいと思います。 ● J Rの駅の階段上がってすぐのところにタッチパネルがあってそこを押すと歴史だとかいろんなものが出てくるので、あれを下に置いた方がいいと思いました。 	<p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ● J Rの駅は一度考えてみてください。下の方がよければまた考えて皆さんで議論していただければと思います。 <p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 3月の下旬にJ Rの方がダイヤ改正をされるというお話を伺いました。この新しい時刻表はどうしても4月1日に変わるという事で3月1日には皆さまにお配りするために作業を進めていました。J Rの改正後の時刻表がこの作業にどうしても間に合わないので、古い時刻のまま載せていくのか、それとも載せないとするか、いろんな議論をさせて頂きました。その結果、今回の印刷物はあえてJ Rを外させて頂いております。 ● かなり皆さんのお持ち頂いているので、来年度すぐに増刷していきたいと考えております。その時はJ R時刻表も入れたいと考えております。
<p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ● J Rさんの場合は4月1日というのをやろうとすると毎年難しいです。3月に時刻改正されますので、情報が早く出ればいいですが、事務局も頭が痛いところだと思うんです。だから増刷する時はJ Rを入れるということになります。ホームページとかは出せるようにされますか。 ● 体制が何時も3月中旬以降なので、どうしてもこういう事が起きてしまいます。事務局で努力してくれると思いますので、一生懸命考えましょう。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新しい時刻表ができ次第新しいものに直していきます。